

西村公鳳 にしむら こうふう 俳人。明治二十八年八月二十日石川縣石川郡出城村  
 生れ、昭和二十四年一月十日歿（八五—一九九）。本名省吾。別號華月、  
 蕉喬園。大正九年東京農業大學卒。國學院を経て、父の朝鮮に於ける  
 事業助勢のため十二年渡韓。俳句は初の版部研石の師事、次ついでに白田臣  
 波の門に入り、その主宰誌『石楠』に據りた。該地で朝鮮石楠聯盟を  
 組織して機關誌『長柱』を主宰した。昭和十八年朝鮮文人救國會理事等。  
 終戦後金澤に引揚、俳誌『北國俳壇』、『北國新聞』等の選者と務め  
 た。『石楠』の他、『風』、『濱』同人。

句集『雪浪』（昭和二十二年四月、一千五百近藤書店「濱叢書」）、遺  
 句集『秋燕』（平成二年六月二十日上田一郎刊）等。



秋燕

西村公鳳遺句集

